

photo gallery アルゼンチンでの思い出



創立90周年記念祭を開催していた日亜学院のステージで、歌を披露した児童たち



訪問先の学校で、パワーポイントを使用し境町の紹介を行った児童たち



世界で2番目に美しいと言われるレコレタ墓地を見学



レストランでの食事風景



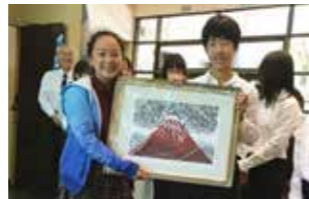
お世話になった茨城県人会の皆さんと記念撮影



現地の子どもたちとスポーツで交流



アルゼンチンの主食である肉料理



交流の記念品として富張氏の木版画を寄贈



エスコバル日本人学校の皆さんと記念撮影



ホームステイ先のホストファミリーの皆さんと記念撮影



仲良くなった友達との別れを惜しむ児童たち



一緒にダンスを踊り交流する児童たち



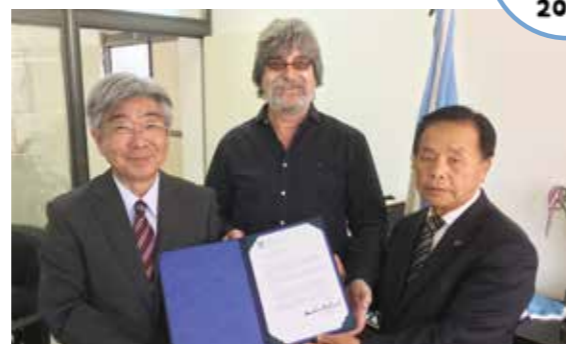
現地メディアの取材の様子

topics 2020年東京オリンピック・パラリンピック アルゼンチン選手団事前キャンプ誘致活動

アルゼンチンで要望活動!



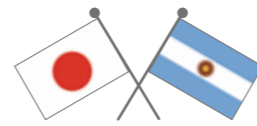
アリシア・マッソーニ オリンピック委員会副委員長（写真中央）への要望活動



ホセ・ガルシア・マニョンスポーツ教育局長（写真中央）への要望活動

町は、かねてから交流のあるアルゼンチンとの交流計画を定め、平成28年6月に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして国から登録が認められています。今回の境町小学生のアルゼンチン派遣事業に併せて、齊藤議員、須藤議員、増田教育長が、アルゼンチンオリンピック委員会及びスポーツ

庁を訪問しました。訪問先では、アリシア・マッソーニ オリンピック委員会副委員長やホセ・ガルシア・マニョン スポーツ教育局長と面会し、町長からの親書を手渡すとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック時のアルゼンチン選手団の境町への誘致に向けた要望活動を行いました。



境町×アルゼンチン 国際友好交流

境町小学生12名をアルゼンチン共和国へ派遣

地球の裏側！
日本から約2万キロ



テマイケン動物園での記念撮影

町では、11月16日から25日までの10日間、境町の小学校の代表児童12名をアルゼンチン共和国へ派遣しました。この派遣事業は、1933年より80年以上交流の続いている長田小学校とアルゼンチン共和国とのつながりをより深いものとするために、昨年度に引き続き2度目の実施となります。今年度は、長田小の児童だけではなく、町内5校全ての小学校から希望者を募り、長田小6名、境小2名、猿島小1名、森戸小2名、静小1名の合計12名の児童がアルゼンチンへ渡航しました。現地では、エスコバル日本語学校、日亜学院、ハボン小学校、サンミゲル学校の4つの学校や茨城県人会などを訪れ、アルゼンチンの子どもたちとの交流を通してアルゼンチンの文化を肌で感じました。また、アルゼンチンの首都であるブエノスアイレスの市内観光では、大聖堂や大統領府（カサ・ロサダ）、カミニートなどの名所を見学し、アルゼンチンの歴史を学びました。派遣中、児童たちは、アルゼンチンの家庭でのホームステイを行い、ホストファミリーの方々と過ごすことで、日本とアルゼンチン

地球の裏側でのあつという間の10日間



アルゼンチン プチ情報

- 日本からアルゼンチンまでの道のりは約2万キロ（地球の外周の半分）
- 飛行機で24時間（乗り継ぎを含めると30時間）
- アルゼンチンの広さは約278km²（日本の約8倍）
- 人口は約4,036万人（日本の3分の1）
- 主食はアサドなどの肉料理
- サッカー大国でありマラドーナやメッシなどを輩出



の生活様式の違いも体験しました。今回のアルゼンチン派遣事業を通して、参加した児童たちは、地球の裏側のアルゼンチンの文化や歴史を自らの目で見て、肌で感じることができました。また、長田小とアルゼンチンとの交流の歴史の偉大さを再確認できた有意義な事業となりました。今後はこの素晴らしいつながりを町全体へと広げ、より多くの子供たちをアルゼンチンへ派遣できる環境づくりに努めていきます。